

授業科目 社会福祉原論Ⅰ

|                 |      |    |       |    |
|-----------------|------|----|-------|----|
| 【担当教員名】<br>横山豊治 | 対象学年 | 1  | 対象学科  | 社会 |
|                 | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
|                 | 単位数  | 2  | 時間数   | 30 |

<概要>  
社会福祉の基礎理論および社会福祉学の方法論について、形成過程および現在の到達点と今後の課題など社会福祉に関する基本的事項をとりあげて検討する。

<学習目標>  
1. 社会福祉とは何かを理解する。  
2. 社会福祉学とは何かを理解する。  
3. 社会福祉士（社会福祉専門職）と保健・医療専門職との関係を理解する。  
4. 社会福祉の現状と課題を理解する。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題   | SBO<br>番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
|----|---|------------------------------|
| 1  | 社会福祉とは何か・・・社会福祉の狭義の概念と広義の概念                                 | 講義                           |
| 2  | 社会福祉の発展・・・世界史における社会福祉の発展過程                                  | 講義                           |
| 3  | 福祉国家の展開・・・戦後日本における福祉国家の成立と諸問題                               | 講義                           |
| 4  | 福祉社会の形成・・・福祉国家と福祉社会の関係                                      | 講義                           |
| 5  | 社会福祉学の構造・・・社会福祉学の諸分野と社会・人間科学                                | 講義                           |
| 6  | 社会福祉の思想・・・人権思想とソーシャルワーカーの倫理                                 | 講義                           |
| 7  | 社会福祉の担い手・・・専門職・ボランティア・市民の関係                                 | 講義                           |
| 8  | 社会福祉士制度・・・社会福祉士制度成立の背景と制度の内容                                | 講義                           |
| 9  | 社会福祉士の実態・・・社会福祉士の職場・職名・社会的役割                                | 講義                           |
| 10 | 社会福祉士の生涯学習・・・日本社会福祉士会の生涯学習と大学教育                             | 講義                           |
| 11 | ソーシャルワーカー団体・・・日本ソーシャルワーカー協会、日本医療社会事業協会、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会 | 講義                           |
| 12 | 社会福祉の国際比較・・・アメリカ・ヨーロッパ諸国・アジア・日本の比較                          | 講義                           |
| 13 | 社会福祉の課題・・・21世紀社会福祉の展望と日本の社会福祉改革                             | 講義                           |
| 14 | まとめ   | 講義                           |

| 【使用図書】 | <書名>  | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|--------|---|-------|-------|--------------|
| 教科書    | 社会福祉士養成テキストブック①『社会福祉原論』岡本民夫ほか ミネルヴァ書房 2004年 2600円 |       |       |              |
| 参考書    | 随時紹介する  |       |       |              |
| その他の資料 | 適宜、印刷資料を配布する                                      |       |       |              |

|  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 【評価方法】<br>授業中に数回実施する理解度確認小テストの受験と提起試験の結果を総合して評価する。 | 【履修上の留意点】<br>問題意識を持って、主体的・積極的に学習すること。 |
|--|---------------------------------------|